

第395号 7月号 2017.7.20

岐阜県

# 商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市藪田南 5-14-53 TEL：058-277-1107

## 夏祭りを楽しむ親子連れで賑わう 代々まつり

◆主催：商店街振興組合羽島市商店街連盟 ◆後援：羽島商工会議所

### ■竹鼻商店街の夏を彩るお祭り

7月1日（土）16時30分。羽島市の竹鼻商店街の中心に位置する青山スクエアでは、蒸し暑い陽気の中、これから始まるお祭りに向け、着々と準備が進んでいました。そのお祭りの名は「代々（だいだい）まつり」。町内の町や家が代々栄えることを願って行われる、江戸時代から始まったお祭りです。

代々まつりの会場となった青山スクエアは、旧十六銀行羽島支店の跡地に作られた公園施設。この公園は、羽島市竹鼻町の青山馥（かおる）さん、青山みさんらが2014年に羽島市に寄附したものだと言います。ここで驚いたのが、このお二人の息子さんが芸能人の観月ありさんの夫、青山光司さんであるということ。街の公園も、色んな角度から見ると新たな発見があるかもしれません。



▲賑わいを見せる代々まつり

そんな青山スクエアでは、代々まつりを楽しみにしていた本当に多くの人で賑わいました。青山スクエア自体はコンパクトな公園なので、体感としては東京の原宿にいるかのような錯覚を覚えるほどの人の密度。お祭り会場は、大変な熱気に包まれました。

代々まつりの目玉は、18時から始まるガラガラ抽選会です。これは和装（ゆかたや甚平等）でお越しになった小学生以下のお子様に関り参加できるもので、先着200名に大玉すいかや菓子詰め合わせなどがもれなく当たります。それを目当てに多くの親子連れが参加し、ガラガラ抽選器から出てきた玉を見ては一喜一憂していました。



▲抽選器から出た玉に一喜一憂

それ以外にも、射的や金魚すくいにも多くの子供が興じる姿が見られたり、羽島の夏の風物詩として知られるみそぎ団子が販売されていたり

など、夏のお祭りを一通り楽しめる内容になっていました。

商店街振興組合羽島市商店街連盟の桐井理事長は、この代々まつりについて次のように話します。

「今回は地元の羽島高校と竹鼻中学校から、学生ボランティアとして34人くらいが手伝ってくれました。これは予想よりも多い人数です。また、代々まつりを通じて、竹鼻商店街に来ていただける方が増えてくれることを期待しています。」

桐井理事長のお話通り、代々まつりには多くの学生ボランティアが参加している様子が見られました。ボランティアを通じてコミュニケーション能力が鍛えられると話す学生もいて、学校では得られない経験を積むことができていたようです。



▲風船釣りを担当する学生ボランティア

## ■商店街に対する真の顧客ニーズとは？

商店街を取り巻く環境は、インターネット通販の台頭や消費者行動の多様化などにより激変しています。羽島商工会議所の伊藤さんは、竹鼻商店街の現状について、「営業している店舗は35店ほどしかなく、減少傾向が続いており、空き店舗や住宅、駐車場へと姿を変えるケースが増えてきています。」と話します。ここ竹鼻商店街も、ご多分に漏れず激変のさなかにあるようです。

しかしながら、今回の代々まつりにおける賑わいの様子から、商店街への来街者は親子で夏祭りを体験したいというような、コトに対するニーズを持っていると考えられます。これは、インターネット通販では絶対に満足させることができないニーズです。

物販をはじめとする従来型の商店街にとっては、全体的な傾向として厳しい環境になってきていますが、こうしたコトへのニーズを持つ周辺住民に対して、価値ある体験を提供することが、地域コミュニティの担い手である商店街の大切な役割の1つだと思います。

モノだけではなく、コトをも提供する商店街へ。

代々まつりにお越しになった多数の来街者を見ると、それを求める未来の商店街のお客様は少なくないと感じました。

## スタッフもお客さんもみんな楽しもう！ 若者主体の夜空カフェ

◆主催：夜空カフェ実行委員会

### ■夢追い人を応援する若者イベント

6月2日（金）の午後6時。一日の営業を終えた多くのお店がシャッターを閉め、眠りにつこうとしている柳ヶ瀬商店街。しかし、その中心に位置する日ノ出町商店街では、これから始まる

イベントの準備で、人の動きが慌ただしくなりつつあります。

そのイベントの名は、夜空カフェ。毎月第一金曜日の夜に日ノ出町の旧長崎屋前で開催されており、今年で5周年の節目を迎えます。6月2日

の取材当日は、からあげやチーズケーキといった様々な飲食のブースの他、クリエイターによる小物や心理セラピーのブース、そして、アーティストによるライブステージなどがあり、週末の夜を柳ヶ瀬で楽しむ人で大いに賑わいました。



▲ライブステージを楽しむ観客

夜空カフェのコンセプトは、こうした出店者・アーティストや、このイベント自体の運営スタッフが、夜空カフェで様々な経験や横のつながりを手に入れることで、彼らの夢の実現を応援することにあります。また、イベントの運営スタッフは20代～30代前後の若者で構成されており、このようなコンセプトに共感するメンバーが集まってきています。

このイベントの特徴は、まずその運営体制にあります。実は、この運営スタッフの中には柳ヶ瀬商店街の関係者は含まれておらず、また運営スタッフは全てボランティアとなっています。



▲運営スタッフChicaの卒業ライブ

柳ヶ瀬商店街というレトロな空間に、商店街関係者以外の若者が、もうすぐ5周年を迎える夜空カフェを、毎月一回ボランティアで開催し続けているという事実。これを実現するには相当な努力や苦勞を伴うことは想像に難くありません。しかし、こうした私の不安をよそに、運営スタッフは本当に楽しそうに充実した時間を過ごしているように見受けられました。

## ■運営スタッフが楽しむことが大事

夜空カフェ実行委員会前代表で、夜空カフェを立ち上げた平田さんに、このイベント自体、及び集客のポイントについて伺ったところ、興味深いお話をしてくれました。

「私は、今日のような賑わいのある夜空カフェが日常的になることが理想だと思っています。そのために**夜空カフェとして大事にしているのは、1人1人に声を掛け、仲良くなって集客する**ということ。その結果、最初は50人のイベントだったのですが、半年後には500人もの人を呼ぶことができました。

また、**イベントを成功させるためには、運営スタッフ自身が楽しんでいることが大事だ**と思うんです。イベントは**運営スタッフの空気に左右**されます。従って、**運営スタッフがイベントを楽しんでいれば、出店者やお客さんも楽しんでくれるようになるはず**です。」

このように話していただいた平田前代表。彼自身も、久しぶりに来たという夜空カフェを思いっきり楽しんでいる様子でした。そして、そうした雰囲気が周囲に伝わることで、人が人を呼ぶという好循環が夜空カフェで生まれていることが、現運営スタッフ2名への取材の中で分かってきたのです。

運営スタッフの1人である川寄さんは、高校を卒業後、社会人として働いている18歳。夜空カフェの運営スタッフとしては最年少です。彼は、夜空カフェに携わることで笑顔になれることが、運営スタッフを1年間続けている動機の1つだと話してくれました。

もう1人の運営スタッフであるMiHOさんは、大学を卒業したての社会人。彼女は夜空カフェに初めて参加してから今に至るまでの3年2ヶ月もの間、夜空カフェに関わり続けています。お客さんとして夜空カフェに参加してみても単純に楽しかったから、翌月には運営スタッフとして関わり始めたというMiHOさん。今は、夜空カフェがずっと続いてほしいと願っています。

このように、イベント自体を楽しんでいる運営スタッフが多い夜空カフェ。これが、出店者やお客さんに伝わっていき、また来ようという思いを起こさせているように感じられました。



▲笑顔が溢れる運営スタッフ

## ■夜空カフェから考える商店街活性化策

「柳ヶ瀬商店街のスペースを無料で貸してい

ただいているので、夜空カフェを続けることで商店街に恩返しをしたい。」と話すのは、夜空カフェ実行委員会現代表の伊藤さん。その言葉通り、夜空カフェが続いていくことは、サンデービルディングマーケットで若返りを図っている柳ヶ瀬商店街にとってプラスの影響を及ぼすことになるでしょう。

また、今回の取材を通して、夜空カフェが柳ヶ瀬商店街に多くの来街者を呼び寄せることに成功した要因を知ることができました。そして、それは普段の商店街活動にも活かすことができるように感じます。

例えば、お店のお客さん1人1人に店主が声を掛け、仲を深めていくことは、お店の客数を伸ばしていくことにつながります。また、お店で販売しているモノやサービスに店主が楽しさを感じることは、来店したお客さんにも接客時等にその楽しさが伝わることで、お客さん1人当たりの買い上げ点数が増えることが期待されます。そして、そのどちらも費用がかかるとはなく、すぐにでも着手できる取組みになります。

神風が吹くのをただ待っているだけでは、商店街の活性化は難しいと言わざるを得ません。夜空カフェの活動のように、店主からお客さんへの前向きなアプローチを地道に展開していくことが、商店街へお客さんを呼び寄せることにつながっていくのではないのでしょうか。

## 美濃俵町商店街振興組合 (株)全国商店街支援センター 繁盛店づくり支援事業

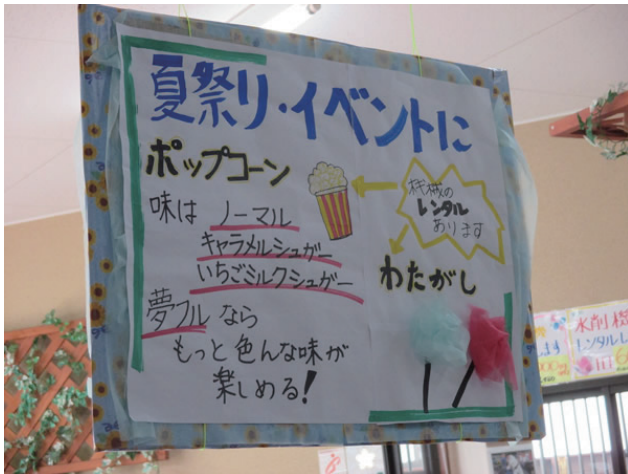
美濃俵町商店街振興組合は、5月より(株)全国商店街支援センターの「繁盛店づくり支援事業(実践コース)」を実施し、顧客の獲得や売上アップに繋がるような店舗改善に取り組んでいます。今回のコースは、毎月1回ずつの全4回の研修で構成されており、専門家のアドバイスを受けながら参加店が継続的に店舗改善に取り組むことで、元気のある繁盛店となることを目指し

ます。

5月29日(月)に行われた第1回の研修に引き続き、6月22日(木)に第2回の研修が実施され、前回同様「めだかの学校」・「(株)ツチモト」・「上井きつけ教室」・「甚五郎寿司」・「山本屋」の5店舗が参加しました。また今回も、専門家として中小企業診断士でフード&ビバレッジビジネ

ス研究所代表の松原憲之氏が講師を務めました。

今回の研修にてたびたび専門家からアドバイスがあったのが、POP、店頭、商品・サービス開発についてです。



▲前回の研修を踏まえて作成されたPOP

まず、POPについては、「①何で、②今、③あなた(=個店)から買う必要があるのか?」、という3点を押さえて作成することがポイントで、これらを顧客に伝えることにより購買に繋がっていくというアドバイスがありました。

次に、店頭については、入店のきっかけに関するアンケートで第1位となっていることから、店内の様子ができる限りたくさん分かるよう店頭を整えておくことや、店頭到店舗のスタッフの写真を掲載することで来店者の敷居を下げるなど、店頭における集客策が重要であることが繰り返し強調されました。



▲現場にて店頭の活性化策をアドバイス

最後に、商品・サービス開発については、各参加店が立地する美濃市の観光スポット（例えば、うだつの上がる町並み）や特産品などの地域資源に絡めた商品・サービスを開発することで、観光客の購買需要の取り込みを狙う施策が紹介されました。

こうしたアドバイスを受けた各参加店は、7月25日(火)の第3回研修までに、専門家とともに決定した更なる改善テーマを実践し、その結果を報告することになっています。

残る研修は、あっという間にあと2回。試行錯誤したり、行き詰まったり。各参加店は専門家からのアドバイスを元に、一生懸命知恵を絞って店舗改善に取り組んでいます。徐々に改善されていく各参加店の未来の姿に思いを馳せ、次回の研修を待ちたいと思います。

【取材・記事 中小企業診断士 加藤正浩】

### ■青年部・女性部研修会のお知らせ

中津川商店街連盟

日時：平成29年8月8日(火) 19:00～21:00

場所：中津川商工会議所(中津川市かやの木町1-20)

テーマ：「まちゼミ勉強会」

講師：岡崎まちゼミの会 世話人 堺康裕氏

### ■事務局(ゆ)のヒトリゴト

こんにちは!

まだ梅雨明けとはいきませんが、夏本番な暑さが続く今日この頃ですね。

皆様、お仕事がお忙しいとは存じますが、夏バテにならないよう、お身体に十分お気を付け下さいね!

## ■岐阜県まちゼミフォーラムinぎふ開催のお知らせ

今や全国300箇所で開催されるまでに成長した「まちゼミ」。

県内の多くの地域で実施されており、これから「始めたい！」と勉強を重ねている地域もあります。

そこで、まちゼミの事例から様々なことを学び、まちゼミのステップアップや実施のヒントになるよう、「岐阜県まちゼミフォーラムinぎふ」を開催します！

まちゼミのネットワークを広げるチャンスです！是非ご参加ください！

### ●開催日

平成29年8月21日(月) 13:30～17:00

(希望者のみ名刺交換交流会を17:15から開催します。参加費1,000円)

### ●開催場所

じゅうろくプラザ5階 中会議室1(岐阜市橋本町1丁目10番地11)

### ●内 容

#### 【基調講演】

「まちゼミでお店も地域も元気100倍」 岡崎まちゼミの会 代表 松井洋一郎氏

#### 【事例発表】

「私の街のまちゼミ、こんなことやってます！」

◆松阪まちゼミの会 代表 金児達也氏

◆飛騨高山まちゼミ実行委員会 実行委員長 原尚之氏

#### 【パネルディスカッション】

「私のお店と街、まちゼミでこんなに変わりました！」

<コーディネーター>

岡崎まちゼミの会 代表 松井洋一郎氏

<パネリスト>

◆自然食品・有機米かねこや 店長 金児達也氏

◆株式会社あいち補聴器センター 代表取締役社長 天野慎介氏

◆福山米穀店・精米所 店主 福山昌昭氏

◆ハラサイクル 店主 原尚之氏

◆ムトウさかや 店長 上野和幸氏

### ●参加料

無料(但し、名刺交換交流会参加者は会費として1,000円いただきます。)

### ●対 象

県内商店街関係者・県内中小事業者・行政・商工会議所・商工会等

### ●定 員

70名(先着順)

### ●締切・申込方法

平成29年8月4日(金) 但し、定員になり次第締め切らせていただきます。

当連合会ホームページより参加申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。(FAX: 058-276-1496)

### ●主 催

岐阜県商店街振興組合連合会

### ●後 援

岐阜県・岐阜市・岐阜県商工会議所連合会・岐阜県商工会連合会

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。